



この挑戦が、未来となる。

ちゅうぎんフィナンシャルグループ

NEWS RELEASE



Cキューブ・コンサルティング



2026年1月30日

セリオ株式会社

島田治男建築設計事務所

株式会社荒木組

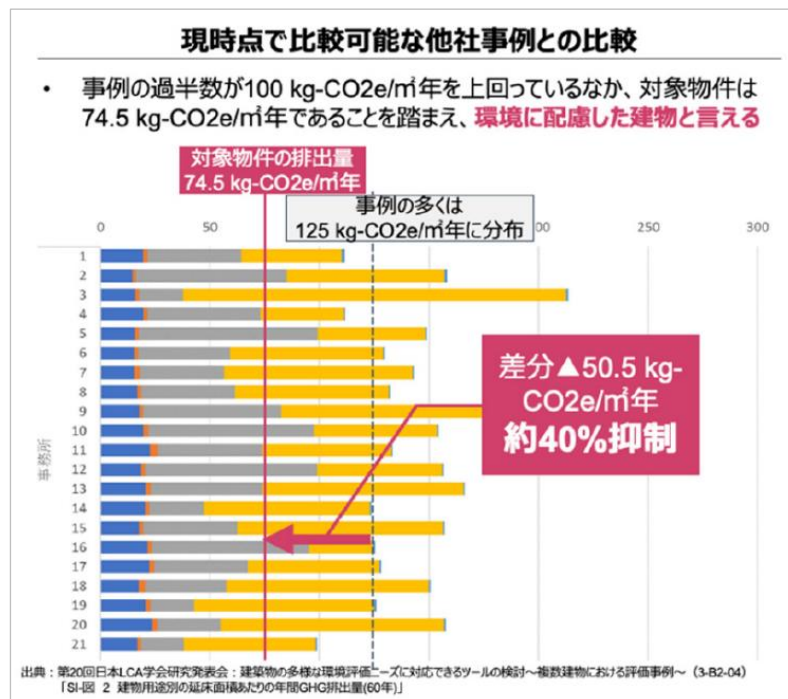
株式会社Cキューブ・コンサルティング

岡山県産 CLT 材を活用した新社屋の建築物 LCA 算定により、環境価値を「可視化」 比較可能オフィスビル事例との対比で GHG 約 40%抑制に成功 ～「建てる」ことで地域貢献を。岡山の森林資源循環モデル～

セリオ株式会社（岡山市 代表取締役社長 本郷 旬）、島田治男建築設計事務所（香川県綾歌郡 所長 島田 治男）、株式会社荒木組（岡山市 代表取締役 荒木 雷太）、株式会社Cキューブ・コンサルティング（岡山市 代表取締役 西原 立）は共同で、2025年6月に竣工したセリオ株式会社の新社屋における「建築物 LCA^{※1}（ライフサイクルアセスメント）」を算定しました。

その結果、岡山県産の認証木材^{※2}（CLT^{※3}）の積極活用や省エネ設計により、**当ビルの GHG（温室効果ガス）排出量は 74.5 kg-CO₂e/m²年となり、比較対象のオフィスビル事例（約 125 kg-CO₂e/m²年）対比で約 40%の抑制**に成功していることが判明しました。

本取り組みは、再造林率の低迷に悩む岡山の森林課題に対し、「木を使う」ことで貢献するモデルケースとなります。



■算定結果の詳細

【新社屋の概要】

所在地	岡山市中区原尾島3丁目16番4号
用途	事務所
構造	木造(CLTパネル工法) 一部 鉄骨造
延床面積	1,830.31㎡ (うち建築物LCA算定対象:本館1,423.15㎡)
建築主	セリオ株式会社
設計	島田治男建築設計事務所
施工	株式会社荒木組
スケジュール	2025年6月竣工



【建築物LCAの算定結果】

算定ツール	J-CAT ^{※4}
評価手法	標準算定法
評価期間	60年
GHG排出量	74.5 kg-CO ₂ e/㎡年

※¹建築物LCA・・・製品やサービスの原材料調達から製造、使用、廃棄・リサイクルに至るまでの全過程におけるCO₂排出量を総合的に評価する手法

※²認証木材・・・FSC（森林管理協議会）などの第三者機関が、環境保全や持続可能な森林経営（植林・伐採管理、地域環境への配慮など）の基準を満たしていると審査・認証した森林から生産された木材

※³CLT・・・ひき板を繊維方向が直交するように積層して接着したパネル

※⁴J-CAT・・・ライフサイクル全体で排出されるCO₂量を定量的に評価するために国土交通省の支援のもと、産官学連携で開発・公開されたツール

以 上

本件に関するお問い合わせ先（TEL 086-223-3110）

株式会社Cキューブ・コンサルティング

業務部 平宅（TEL 086-225-0565）

株式会社中国銀行 広報センター 岡嶋（内線2255）